



観光



干潮のときだけ現れる石堤

満潮と干潮の差が約6mもある有明海の影響のため、土砂の堆積が著しく、船舶の航行が困難だった筑後川。その航路確保のため、1890年オランダ人技師デ・レイケによって築かれたのが、「デ・レイケ導流堤」です。有明海の入江から約6.5kmに渡り筑後川の中央に築かれた石組みの堤は、100年以上経った今も機能を果たしています。その姿が見られるのは干潮の時のみ。新田大橋や昇開橋から見ることができます。

OKAWA
TERRAZZA



デ・レイケ導流堤

⑧ 大川市向島周辺

⑧ 0944-87-0923 (大川観光協会)